

週報

【2022/9 第3例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F 安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866 FAX:0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: http://www.anjo-rc.org

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

第3112回例会

2022年9月16日(金) 12:30~13:30

司会者：小野田 真代さん・稲垣 礼子さん

ソング：「それでこそロータリー」

ニコボックス委員会：永井 慎悟

ゲスト及びビジター： 安城少年野球連絡会 会長 伊藤順一様

安城学園高校IAC 顧問 岡山直樹先生

安城学園高校IAC 熊澤里佳先生 生徒18名



出席報告者：鶴田 香也乃さん

全会員数 54名

現在出席義務者数 42名

本日の出席人数 31名

内出席免除者の出席人数

出席率 72.90%

2022-23年度：RIテーマ

「IMAGINE ROTARY」

安城ロータリークラブ会長方針：

「チャレンジロータリー、笑顔で学ぼう」

■会長：奥田 法行

■幹事：市川 護

■クラブ会報：赤木禎行・辻隆士・恒川憲一・成田孝則

■ 会長挨拶

奥田 法行会長

1. 7000万台！

SDGs 9 『誰でもつくれる“結晶が”地球環境を救う？』



『安心して飲める水』へアクセスする方法は、意外にも限られています。アフリカなどの“途上国”では、まだ浄水技術が整備されていない地域があり、ユニセフによれば6億6300万人が安全な水を手に入れられない環境にいるそうです。また、“先進国”でも水道管の老朽化による健康被害が生まれているケースもあります。日本に住む我々も他人事ではありません。きれいな水をどこでも、だれでも得られる世界をつくる材料の研究が長野で進められています。その材料の名は『信大クリスタル』です。

秘伝のレシピで生まれる結晶・信大クリスタル



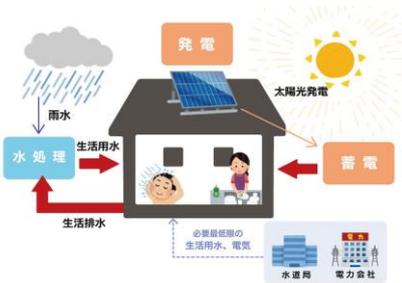
信大クリスタルとは原子や分子が規則正しく並んだもの。結晶化することによって、その物質が持っている性能を、最大限引き出すことのできるものを呼びます。例えば、強度を増すことができたり、不要な物質を効率よく吸着させることができる物質のことを指します。理科の実験で学んだと思いますが、お湯に、塩やヨウバンを溶かし、飽和水溶液をつくる。その後ゆっくりと冷やしていくと、底の方に小さな結晶がたくさんできます。あの原理と同じ。正式には『フラックス法』と呼ばれる製法です。フラックス法以外だと、物質自体を融点まで熱して溶かした上で、さらに冷やして決勝を取り出すため、大きな設備がないと難しいことです。因みに塩の融点は800℃です。フラックス法のレシピを見て結晶をつくれれば、小さな子供でも結晶ができます。それを利用してアフリカに安全な水環境を根付かせることに信大の手島教授が取り組んで見えます。

自分たちの力できれいな水を得る

アフリカ、タンザニアでは、地下水のほとんどに高濃度のフッ素が含まれていて、深刻な健康被害が生まれています。現地では、飲み水を確保するためにどうしているかという、牛の骨を焼いて炭にしたものを使って浄水しているそうです。安全で美味しい水には、ほど遠いということです。以前、安城RCでもカンボジアに井戸堀のボラティア活動を行った時も、井戸水に有害物質が含まれていないかを確認したことを記憶しています。現地の人々が自分たちで取り組める、できる限りシンプルな技術を使い、結晶材料を使ったティーバック型の浄水器を使い、井戸まで水を汲みに行ったら、この結晶材料を詰めたティーバックをタンクに入れて持ち帰るだけ、現地の人々が水汲みに用いている片道2時間程度の間で、家に到着する頃にはきれいな水になっています。そうすれば、せつかく掘った井戸も無駄にはなりませんね。



『家』という単位で循環し続ける



雨水を循環させて生活用水に使う。さらにそれを浄化して、もう一度生活用水にする。そうすれば、水を無限に循環させ続けることができ、究極のエコハウスが実現できます。将来はこの図のようなシステム訪れることでしょう。

■ 幹事報告

市川 護幹事

1. 地区大会登録料・晩餐会登録料を集金いたします。(登録料 ¥12,000/晩餐会 ¥20,000)
2. 9/23(金)法定休日の為、休会です。
3. 9/30(金)11:30～理事会を会議室、例会終了後周年会議を行います。

【本日のセレモニー】

安城少年野球連絡会及び安城学園高校IACへ活動費授与



◆ クラブフォーラム

担当 社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会

「IAC・RCC 活動報告及び活動費贈呈式」

安城学園インターアクト部会長の稲熊大樹です。

本日はこのような素敵な例会を開いて下さりありがとうございます。

私は国内派遣研修と通し屋久島の豊かな自然環境や知覧で学んだ戦争の悲惨を知り、更にはチームワークの大切さからリーダーシップを学ぶことが出来ました。また、他校との関わりが少ない中でも開催により他校の友人も出来、豊田高専との合同活動の計画も立てることが出来ました。

今回はこのような素晴らしい機会を設けてくださりありがとうございました。



この研修で、屋久島でのトレッキングや、行動班別で鹿児島市内をまわったりと、普段体験することの出来ない多くの経験が出来ました。経験だけでなく、屋久島のゴミ問題や、知覧特攻隊の平和学園で、今の僕たちが考えるべき問題など、多くの学びもありました。このような貴重な体験が出来たのは、インターアクトボランティア部を支えてくださるロータリーの皆様のおかげです。ありがとうございました。

改めまして、今日からインターアクト部の部長になります。上村啓悟です。僕は、人の前に立って、リーダーシップをとった経験があまりなく、活動中にうまく回せないことがあるかもしれませんが、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。インターアクトボランティア部では、過去の活動で、あしなが募金や盲導犬募金、ワールドフードフェスタ、夏祭り、など様々なボランティア活動に参加してきました。これからも、地域社会に貢献できるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

